

# 容量市場と需給調整市場の最新動向と 電力ビジネスの可能性

～エネルギー供給強靱化法成立後の電力システム改革の行方～

—講師— エナジープールジャパン株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 市村 健 氏

開催日： 2020年8月21日(金) 午後1時30分～午後4時00分

会場： 港区立商工会館 東京都港区海岸1-4-28 JR浜松町駅下車 徒歩8分

参加費： 1名 33,000円 2名目以降 1名につき 27,500円(いずれも税込み) (キャンセルは1週間前までに)

## 【重点講義内容】

容量市場は本年7月に初のオークションが実施され、需給調整市場の制度設計も三次調整力①②まで進んでいる。その一方で、先の通常国会では「エネルギー供給強靱化法」が成立し、託送制度改革・配電ライセンス・アグリゲーターの法的位置づけ・FIP制度導入・計量制度の見直し等が整備され、今後の詳細設計がカギを握る。

本セミナーでは、資源エネルギー庁及び電力広域的運営推進機関で審議会委員を務める講師により、電力システム改革下での電力ビジネスの可能性について解説する。

1. 電力システム改革の下で電気事業とはどうあるべきなのか
2. 「エネルギー供給強靱化法」と電力システム改革との密接な関係性について
3. なぜ容量市場・需給調整市場が必要なのか
4. 容量市場・需給調整市場後の電気事業における3つの価値
5. 容量市場の最重要ポイント
6. 需給調整市場の留意すべきポイント
7. 電気事業におけるDRの役割
8. 2018年9月北海道胆振東部沖地震の教訓
9. これからの電気事業のポイント

講師 Profile 市村 健 (いちむら たけし) 氏

1987年東京電力株式会社入社。本店原子燃料部にてカナダ・ウラン鉱山権益買収プロジェクト、その後、本店総務部にて広報渉外・官庁調整・危機管理業務等に17年に亘り従事。その間、議員立法である「エネルギー政策基本法」起草にも携わる。2014年6月東京電力を退社。同年7月よりシュナイダーエレクトリック・デマンドレスポンス事業部ディレクター(エナジープール日本法人設立統括)。2015年6月より現職。併せて、資源エネルギー庁 ERAB 検討委員(制御量評価 WG 委員)、電力広域的運営推進機関 需給調整市場検討小委員会・委員、資源エネルギー庁 次世代技術を活用した新たな電力プラットフォームの在り方研究会 オブザーバーを務める。慶大卒。米国ジョージタウン大学院 MBA。

お問合せ・申込先 株式会社 経営コンサル 105-0003 東京都港区西新橋 2-9-3 TEL(03)3501-6811

申込方法 下記申込書にご記入の上、FAX(全面)送信、又は E-mail、Web 上でお申し込みください。

FAX (03)3580-3580 E-mail : [con@sul.co.jp](mailto:con@sul.co.jp) 検索 ⇒ [\(株\)経営コンサルセミナー](#)

《お申込書》

NO-20-08212

会社名		ご住所	〒
電話・FAX 番号		Mail	
所属・氏名		所属・氏名	

※申込受付後、折り返し「参加証、会場図、請求書」を郵送致します。複数人数は複写でご利用ください

検索 ⇒ (株)経営コンサルセミナー ⇒ お申し込み、他のセミナーもご覧ください

